本番まで50日を迎えて 総合開会式 7/31 「しおかぜ」結団式



▼響き渡るハーモニー





▲息を呑む迫真の演技

六月十一日、諫早市文化会館にて行われたしおかぜ総文祭の五十日前イベント：またの名を「結団式」。五十日後の本番に向け、このイベントでさらに長崎の文化部の士気を高めるのが目的です。

心掴む幕開けから、感動のエンディングまで

瓊浦高校の演劇部による、見ている人をはっとさせる迫真の演技が一気に会場全体を引きつけ幕開けを飾りました。イベントでは、総文祭に参加する二十一部門がそれぞれステージの上で意気込みと、部門の紹介をしていきます。放送部門によるうっとりするような全国一位のアナウンス、テレビでも放送された県内の一人の女子高校生のドキュメンタリー映像「あかね色の空」の上映、聴いてくれる吹奏楽部の演奏など、どれも質の高いものばかりで総文祭への期待は膨らみます。エンディングでは西陵・創成館のブラスバンド部、純心の合唱部がしおかぜ総文祭のテーマソング「今、ここから」を全員で大合唱。会場全体が拍手で包まれました。

「キラキラした長崎」を伝えたい

実行委員長の吉村優子さんにインタビュー。

「今まであっという間だった。本番では、お客さんに『キラキラした長崎』の良さを伝えたい」とこれからの総文祭への意気込みを語ってくれました。

ちなみに吉村さんの一押しの部門は「高校生文化サミット」。「文化って何だろう？」という答えの無い議題を全国の高校生で話し合う、総文祭の核となる部門です。

沢山の人の思いの詰まったこの夏のビックイベント、総文祭。準備は目下進行中です。



▶長崎の良さを届けたい

ヨット女子団体 九州大会優勝!!

六月十四日から十六日にかけて、熊本県の宇土市で行われたヨットの九州大会。全国から優秀な十八チームが集まりました。宇土市はあまり風が吹かない地域。その上、台風の接近で天候に恵まれなかったため、三日目は試合が行えず、三日間で四レースしか走れなかったそうです。高津・後ペア）がデュエット競技で一位。そして団体優勝を勝ち取りました。

後日、キャプテンのA3倉永奈樹さんは「チームが一つになって、同じ目標に向かって挑んだから勝てた」と、顧問の三嶋先生は「二、三年生が一年生をよく引っ張った。インターハイでも、のびのびやってください」と話してくださいました。

また、出場した倉永さん、元津さん、濱本さんからは「金メダルと優勝旗を持って帰ってきます！」インターハイに向けてのと力のこもったコメントが。夏に行われるセーリング四百二十級世界選手権の日本代表としてスペインにも行くヨット部。日本で、世界で活躍するこれからのヨット部にますます期待がかかります。



▼次の大会を見据える瞳

「自分の」進路に聞く!! 未来です。

一学期が終わり、もうすぐ夏休み。しかし長いようで短い夏休みが過ぎると三年生の就職試験はもう目前です。まだ関係ないと思っている一・二年生や未だ悩める三年生の為、進路指導室の上野先生に進路選択に関するお話を伺ってきました。

？今年の求人情報は。

―全部で百三十四件。

県内二十五件。

県外百九件。

（七月三日現在）

県内の生産業の求人が三分の一になっているので、今年も県内就職は厳しい。（県内就職が一番有望なのはM・P科！）

？進路を選ぶ上で大事なことは。

―自分が何をしたいかを自分自身で考えること。大事なのは給料じゃない。（給料で選ぶとしても昇給制度があるか、など数年先のことを考えるべき）自分に合っているかどうかで仕事を選べ！

？一・二年生にアドバイス

―一つ目、コミュニケーション能力を高めること（部活を続ける。クラスメイトやチームメイト、先生などと話す）二つ目、基礎学力を高めること。三つ目、めげない心を持つこと。

進路指導室の開放は放課後十七時まで。七月に入ってからは求人票や会社のパンフレットを見に来る生徒も増加傾向。あなたも一度と言わず何度でも、早いうちに、自分の進路を見つめに進路指導室に来てみませんか。





▲求人票ファイル
あなたの未来はこの中に…

◀「しっかり考えて」by上野先生

一年生な☆日々

期末考査が終わりましたね。結果はどうだったでしょうか？私は一気に下がりギリギリのラインに立っております…。この時期にこの成績って…。しかーし！考査が終わった後に待っているのは夏休み。趣味を極めると、友達と一日中遊ぶこと、順位を一気に一桁まで上げること、なんでも出来る！わくわくですね。部活が多くて…という方も時間を見つけて楽しんでください！

夏には沢山のイベントがあります。海にお祭りにお盆に花火大会…高校に入学して出来た新しい友達と更に仲を深めるチャンスですよ！そんな楽しみな夏休み。私は今回のテストの結果により、地獄と化すであろう。勉強頑張らなきゃ…。

また、勉強とは別にもう一つ力を入れていきたい事がありますそれは八月に行われる大工技能検定の実技試験。それに向けて日々、練習に励もうと考えています。施工室に通いつめますよ！共に筆記試験もあるので、ハードな夏休みになりそうです。

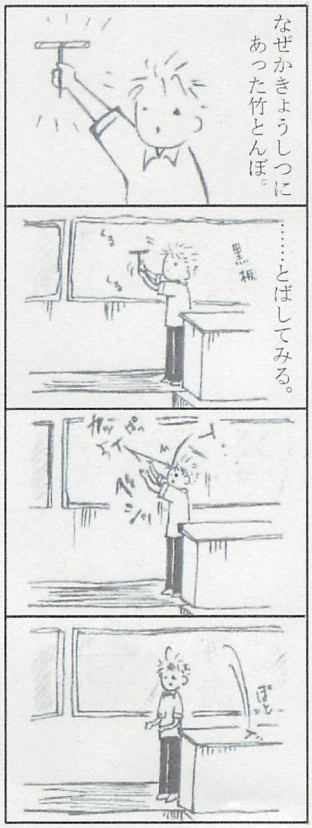
それぞれ、この長期の休みに頑張りたいことや目標があると思います。その達成に向けて努力し、充実した夏休みを過ごしてくださいね！（下田）

編集後記

もうすぐしおかぜ総文祭。という訳で新聞部も総文祭出品用作品を制作、その他の準備もあってもうてんやわんや。幾多の苦難を乗り越え…つにどんな苦痛にも耐えられる秘技を身に付けました。くらえい必殺、家帰ってって爆水！いやさ、爆睡！

くるくる！ こふ五生!!!

～ぴーさんの竹とんぼ～



シリーズ 溶接1・2・3!

☆さっぱり分からないのになんて楽しみ？3

最近では街灯の明かりさえもアーク光に見えてくる始末。今、私が感じている溶接の感覚、それは線香花火の先の玉をどれだけ綺麗に保ちつつ鉄板と鉄板の間に流し込めるかです。そこはもう私と鉄板だけの世界。精神的にグラグラしていると実にへなちょこなビードが完成してしまいます。性格や生き方が表れる怖さの一方で溶接棒を駆使し世界に一枚の鉄板を仕上げると思うと素敵です。

さて、七月は溶接の資格試験に初挑戦、甲斐田は合格できたのか…!?

▼溶接セッティングOK！



進路特集! 卒業生のホンネ

進路を決めるとき、やっぱり参考にしやすいのは実際の卒業生の声。社会人としての生活や進学した先の学びのようすなど…。みんなが知りたい「卒業後の様子」とはどのようなものなのか？

（古野電気・北村）

授業の内容についていくために高校の定期テスト前よりも多い予習をしています。

大変なことは様々ありますが新しい目標に向けて努力することは、まったくもって苦ではありません。目標を持って日々活動することでやる気が沸いてくると感じた一ヶ月でした。

（長崎市医師会・内田）

卒業生の「今」が伝わったでしょうか。また機会があれば掲載していきます。

とりあえず受身で聞いていれば良かった学生のときと違って社会人は自ら動かなければなりません。「社会は甘くない な」と感じました。

（長崎電建工業・坂田）

学生時代に何かに打ち込んでおくと、後できっと何かしらに役に立つということを、この体で実感しました。

（古野電気・北村）